



# 全大教教研集会へ行く1



～ 編集者 S 名古屋放浪記(1) いざ名大へ～

9/30 - 10/2 名古屋大学において全大教教研集会が開催された。さまざまな分科会があり、オイラ自身、技術職員・青年、全大教の今後の運動を分科会で聞きたく参加した。

30日 11:10、中部国際空港へ到着した。25年ぶりの名古屋である。ちなみにオイラは小学校2年生まで三河安城で育っていた。何もかもが様変わりしたのか、ただ単に忘れてしまっているのかは定かではないが、やっぱり変わったのだろうと思い込むことにしたオイラであった。名古屋駅で熊大参加者との待ち合わせ、時間もいい頃なのでお昼にすることに。「名古屋といえば味噌煮込みみう

どんだろう」ということで、駅内にある有名な「山本屋」へ行くことにした。以前に食べたことはあるのだが、久しぶりの味で期待に胸を膨らませるオイラ。しかし、無情にも期待は裏切られた。焦げ臭いのである。写真で見てもらうとわかるが、土鍋の外側はかなりの焦げがついたまま



なのだ。焦げの匂いがきつくて完食は無理。ほんと「おみゃあさんは名古屋出身かえ??」と聞かれそうなオイラである。不満の残る昼食ではあったが、時間も時間だし基調報告に間に合うよう名古屋大学へ行くこととした。

会場では基調報告が始まっていた。中段あたりの席に着き、全大教の今後の活動に対しての提案や情勢分析等を聞くのであるが、ただ単に報告集の「基調報告」の部分を読みあげているだけである。報告集はあくまでもわかりやすく端的に書くものであり、足りない核の部分で基調報告という場を借りて伝えていくものだと感じている僕はなんだかこの時間が無駄に思えてきた。退場するわけにもいかず、基調報告が終わるのをただ待ち、皆さんには非常に申し訳ないと思うオイラで



した。ただその後、名古屋大学総長の挨拶があり、大学と労働者および学生との対話から健全な大学作りをしていくという話があった。忙しいとは思いますが、我が大学でも学長が積極的に労使交渉の場などに出席し、労使お互いに誇れる熊本大学作りをしていきたいものである。

今号はこのへんで。次号は分科会 A および懇親会の模様を報告します。

## 編集者のぼやき

約二週間ぶりの「やまくら～ズ」。わたくし遅めの夏休みと休養していたのであります。なかには「もう、やまくら～ズは休刊か??」なんて思われた方もいるでしょうが、今年度ばかりはそうはいきませんよ。なんととしてでも続けていきます。ただ、ネタに限界が来てるのも実情です。今回から「名古屋シリーズ」を三回ほど考えています。今号に関しては、あまり興味のありそうなことは書けませんでした。次号に期待してください。ただ、Webにも載せるということで、

多くの人が見るということです。こし書きづらいな…。と感じるところもありますが、あくまでも僕個人が青年という視点から見て感じたことを素直にお伝えできればと思います。

それと噂の S 氏ですが、今一度、川柳チャンスをとのことですので、テーマをほいっ!!「食欲」。う～ん、秋らしいテーマだ。ほかの方もいっぱい投稿してください。御礼はできんけど…。

熊本大学教職員組合青年部機関紙

やまくら～ズ 発行 No.9 2005/10/13